

法政大学 理系同窓会報

旧・法政大学工学部同窓会報

卒業生67,200名
第15号

■理系同窓会は理工学部・デザイン工学部・生命科学部・情報科学部—4学部—の組織 ■ URL: <http://133.25.196.100/>

発行所 〒184-8584 東京都小金井市梶野町3-7-2 理系同窓会 TEL/FAX 042-387-6385 発行人：村主 康和・編集人：会報編集委員会

会長挨拶

同窓会の存在価値とは何か



法政大学理系同窓会 会長

すぐり やすかず
村主 康和 (電気74)

理系同窓会の会長となってから3年が経ちました。理系同窓会長の任期が3年でもあることから、今回が最後のご挨拶となります。今までご支援いただいた全ての卒業生、先生方、小金井事務部、校友会、学部同窓会に感謝いたします。

同窓会の役割はと考えると先生方との関係の重要性を再認識しました。

同窓会=年老いた卒業生の集まりと感じる方が多いからだと思いますが、同窓会に声を掛けられることに躊躇されるなど、距離を置きたいとの気持ちが強いことと感じています。

この様な感じを受けていましたが、若い方が積極的にご参加いただけるようにリクルーターとしてお声掛けするようにと指令を出されたのが渡邊嘉二郎先生が会長をされていた時です。

また理系コンソーシアムを立ち上げられて、社会人となった卒業生の方々との接点が増えるキャリア相談会が開催されることで、在校生の方々へ理系同窓会の存在を知っていただき機会が増えたのも先生方のお陰です。

これからも、この関係は継続されていきます。その中で在校生の役に立つ同窓会の立場はと考えると、毎回数百人の在校生に参加していただいているホームカミングデーに多くの

卒業生にも参加していただきたいとの考えです。

先輩の方々との接点が多いクラブ活動等をされている学生の方は、普段から大きく年が離れた方と話をする機会もあり、その様な方と話すことに違和感無く免疫ができていますが、多くの学生の方は免疫が来ておらず、社会へ出てから何を話せば良いのかどう接すれば良いのかに悩み、拒絶反応を示す方もいるようです。多くの卒業生がホームカミングデーに参加されて、学生と積極的に話されることで、年が離れている方の考え方や価値観を知るのは今後の人生に対して有効な事と思います。

キャリア相談会に参加されている官公庁や企業の皆様にとっても、法政の学生は先輩との接し方を知っているのです、この面でも即戦力になると感じていただけるのではないのでしょうか。

卒業生の皆様へのお願いとなりますが、イベントへご参加いただき多くの学生と話をしていただきたいとのお願いです。

今後の理系同窓会発展を願って3年間の締めくくりとさせていただきます。ありがとうございました。

お知らせ



2026年2月27日 (金)

法政科学技術フォーラム
を開催 (小金井キャンパス)

法政大学

業務執行理事/副学長 田中 豊

〒102-8160 千代田区富士見2-17-1
TEL 03-3264-9220

法政大学

業務執行理事/副学長 松尾 由賀利

〒102-8160 千代田区富士見2-17-1
TEL 03-3264-9220

理系同窓会会長
法政大学理系コンソーシアム 理事

村主 康和
電気 1974年卒

〒184-8584 小金井市梶野町3-7-2
TEL 042-387-6385

法政大学工体連OB・OG会

会長 土居 通明

副会長 松本俊一
副会長 柴田俊司
事務局長 田中 浩
代表議員 高津次朗

理系同窓会 相談役

佐藤 良一
建築 1975年卒

〒184-8584 小金井市梶野町3-7-2
TEL 042-387-6385

理系同窓会

理事 高橋 敏男
建築 1972年卒

〒362-0065 埼玉県上尾市畔吉1115番地2
TEL 090-5519-0011 FAX 048-773-3086

大学理事よりご挨拶



法政大学
業務執行理事 (小金井担当)
副学長
田中 豊

本同窓会報を手にとってくださった法政大学理系同窓会の皆様に、心より御礼申し上げます。日頃より同窓会活動ならびに母校の教育・研究の発展にご理解とご支援を賜っておりますことに、深く感謝申し上げます。

法政大学の理系教育は、旧工学部の流れを汲む情報科学部、デザイン工学部、理工学部、生命科学部を中心に、実学を重んじる精神のもと、社会の現場と強く結びつきながら歩みを重ねてまいりました。研究室における地道な探究、分野を超えた協働、そして人と

社会に真摯に向き合う姿勢は、時代が移り変わっても変わることのない本学理系の礎であります。多様な分野で活躍されている同窓の皆様様の歩みそのものが、その価値を雄弁に物語っているものと存じます。

今日、科学技術は社会構造そのものに大きな変化をもたらし、環境問題やデジタル化の進展など、複雑で重層的な課題に直面しております。こうした時代においては、専門性の深化に加え、分野や立場を超えた対話を通じて、技術を社会へと適切に実装していく姿勢が一層求められています。理系人材が果たすべき役割は、単なる技術の創出にとどまらず、未来への責任を自覚した総合知の実践にあると言えるでしょう。

本同窓会が、世代や分野の垣根を越えた交流の場として機能し続けることは、母校と社会を結ぶ大きな力となります。本同窓会報が、同窓相互の歩みを知り、次代へと知見と志を受け継ぐ契機となることを願ってやみません。今後とも、法政大学理系同窓会のさらなる発展と、皆様のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。



法政大学
業務執行理事
副学長
松尾 由賀利

2025年度より法政大学業務執行理事・副学長を拝命いたしました松尾由賀利と申します。専門はレーザーを用いた実験物理学です。理工系のバックグラウンドを持つ者として、また、今も数が多いとは言えない女性科学者の一人として、法政大学理系同窓会の皆さまとともに法政大学の理系分野の発展に力を尽くしてまいりたいと考えております。

現在、少子化の進行や国際情勢の不安定化など、大学のみならず社会を取り巻く環境は大きく変化しています。しかし考えてみれば、

いつの時代にも変化はありました。その中で、大学で学ぶことの意義は何でしょうか。その一つは、どのような変化にも対応できる基礎的な力と、変化を先導する先端的な力の双方を身につけられる点にあるのだと思います。理工系の学問は積み上げ式であり、かつ先進的な技術の源であることから、まさにこれを体現する分野と言えるでしょう。

法政大学からは多くの優れた研究が発出されています。ここで学び、その成果を社会の各方面で発揮されている同窓会の皆さまと、在籍者が力を合わせ、法政大学の理系ブランドの価値をさらに高めていくことを一緒に目指したいと考えています。そのためには研究力向上が不可欠であり、その重要な鍵の一つがダイバーシティです。特に女性の参画拡大は、研究の質と広がり高めるとともに、次世代の女子学生を呼び込む好循環を生み出します。卒業生の活躍が可視化されることにより、法政大学の理系がさらに多くの方々

理系同窓会 2024年度 褒賞授与者一覧 (2025年3月10日)

学部・学科	氏名	卒論テーマ
理工学部	今井 雪光	先端にカメラを搭載したロボットアームによる物体認識と把持システムの開発
	安藤 優沙	なし
	菊池 翔大	FDTD 法によるランダムレーザーの連成解析
	小播 優貴	強化学習による埋込型永久磁石同期モータのパラメータ最適化およびトポロジー最適化に関する研究
	川田 拓朗	SciGA: 学術論文における Graphical Abstract 設計支援のための統合データセット
	永井 大地	潜在拡散モデルにおける生成対象の個別生成と配置による画質改善の試み
	今泉 智子	ダイバージェンスに基づく等化/リンキング法
創生科学科	川口 優菜	日本市場の統計的裁定取引における PCA 戦略と ETF 戦略のパフォーマンスの比較
	土屋 光汰朗	CMOS カメラの周辺機器の制御及びシステム開発
	奥原 香菜	ずばる望遠鏡搭載に向けた CMOS センサーの冷却性能評価
生命科学部	親 跡 佳 乃	結核菌異物排出系構成タンパク質 MmpS5 間相互作用の解析
	福岡 舞衣	海洋細菌極べん毛モーターの粘性センサー機能とイオン透過の連関
	森 愛花	鎖末端にフルオレニル基を有する PME3MA-b-PDMAEMA の合成と溶液挙動
	品川 佳奈子	バイオマス由来有機酸を用いた金属錯体の合成と構造および物性評価
応用植物科学科	矢作 日果理	ブロッコリー残渣の土壌への混和が糸状菌密度とリグニン分解菌割合に及ぼす影響
	相田 菜帆	Pectobacterium carotovorum subsp. carotovorum MAFF211377 株の生産する抗菌物質と拮抗関連遺伝子に関する研究
情報科学部	日置 遼平	行動選択の頻度低下による深層強化学習の学習速度向上の評価
	竹内 柚太郎	クアルト強解決の研究
デザイン工学部	塩出 匠	個体群プロトコルモデルにおける弱公平乱択半数分割
	北村 洋翔	任意のグラフ上での個体群半数分割問題の時間計算量の解析
建築学科	佐藤 拓海	ESO 法による位相最適化の計算効率向上を目的とした機械学習の活用
	興井 かなみ	痕跡から紐解く都市の特徴
	市川 楓太	統計データを用いたコンクリート橋の建設年代の推定に関する基礎的研究
	梶 明日香	SPH 法による浸透解析の基礎的検討
	孟 金羽	旧来のスリットスキャンを再現した新しい撮影アプリの制作
システムデザイン学科	大平 桜子	主観的物差しによる食生活リフレクションの提案—卒業できるテクノロジーを目指して

「令和7年度 理系同窓会ホームカミングデー」参加報告

法政大学理系同窓会 理事 高橋敏男 (建築72)

『ホームカミングデーの目玉 理系コンソーシアム！ 多士済々の教授の下、
*学生が研究成果を発表し、企業人とOBOGがそれを知る絶好のチャンス』

11月1日(土)の午後、恒例の小金井祭に併せキャンパス内で卒業生を迎えるホームカミングデーが開催されたのを見学しました。



(看板)



(中庭の屋台)



(羊と黒豚)



(フクロウ)

小金井祭は教室、体育館、中庭を会場に展開されます。ミニ動物園も出店されていました。さて次世代を担う理工系人材の育成を目的に、令和5年9月1日に設立された法政大学 理系コンソーシアムは今年で3年目です。現役学生の研究成果を観てもらおうこと。OBOGその他の企業人及びゼミの先生方との情報交換を通じ学生のキャリアアップに繋がることが期待されています。行事

のはじめの講演会は、当年は理工学部機械工学科の小泉隆行教授が『瞬間と永続が紡ぐ強さの真実～構造材料に潜む「永久強度」の発見』と題して講演されました。



(講演会場の様子)

途中からの聴講で詳細は分かりませんが、金属特性研究に先立ち仮説を立て、それを元の実験を繰り返して突き詰めていき、結果を評価し実社会に役立つ道を考えることまでを含む、時間とコストが必要な研究なのですね。これまでの法政大学理工系学部の研究発表を拝見して、社会のインフラ構築に役立っていることを知り、卒業生の一人として誇りに思います。OBOGの皆様には温かい目で後輩の活躍を応援していただきたいです。午後6時～午後8時まで東館地下1階生協食堂で理系同窓会主催の懇親会が行われましたが、

懇親会にはキャリア相談会参加企業の皆様、現役学生、教職員、更にOBOGが集い賑やかな会となりました。

なおコンソーシアム会員は、多くの民間企業、地方自治体、警察官、自衛隊員等数多の職種に及んでいます。拙文から状況を想像して読み取るのもいいのですが、コンソーシアム以外では別日程で*法政科学技術フォーラムを開催 [2026年2月27日(金)] しているので年に一度は、より多くのOBOGに小金井キャンパスまでお出かけ頂いて、法政大学理系学部の学生の研究成果を観ていただきたいと思ひます。



(村主理系同窓会会長の挨拶)



(毎回賑わう抽選会)



(OBOG等企業人と学生の交流)



法政大学理系コンソーシアム 3年目を迎えて

一般社団法人 法政大学理系コンソーシアム 新代表理事 安田 彰

理系コンソーシアムは、関係各位の理解とご支援を賜り、発足より三年目を迎える運びとなりました。ここに、日頃より本コンソーシアムの諸活動に多大なるご尽力をお寄せいただいている企業様、卒業生の皆様をはじめとする関係者の皆様に対し、心より厚く御礼申し上げます。

本コンソーシアムは、理系人材の育成と社会との持続的な接続を一層強化することを目的として、「学生支援」「学生・卒業生・企業の有機的交流の推進」「共同研究の推進」の三つを中核的な柱に据え、これまで着実に取り組みを進めてまいりました。

まず、学生支援の一環として、海外学会において研究成果を発表する学生を対象としたコンソーシアム冠奨学金の授与を開始いたしました。本制度は、経済的支援にとどまるものではなく、学生一人ひとりが国際的な舞台におい

て主体的に学び、果敢に挑戦する姿勢を後押しすることを目的としております。今後も、時代や社会の要請を見据えつつ、制度内容のさらなる充実を図ってまいります。

次に、現役学生、卒業生、ならびに企業との有機的な交流の推進について申し上げます。とりわけ、就職支援の一環として継続的に開催しているキャリア相談会は、2025年11月の実施において、参加企業65社(110名)、学生200名、卒業生30名、教職員26名を含む、延べ400名を超える関係者が参加し、極めて盛況な催しとなりました。世代や立場を超えた率直かつ実践的な意見交換を通じ、学生にとっては自身の将来像を具体的に描く貴重な機会となるとともに、企業および卒業生にとっても、次代を担う人材育成の新たな可能性を見出す場となっております。

さらに、共同研究推進の取り組みと

して開催している科学技術フォーラムでは、2025年3月の開催において132件に及ぶ研究発表が行われました。多くの学生ならびに企業関係者が一堂に会し、研究成果の共有に加え、活発な議論を通じて新たな連携の端緒が数多く生まれたのではないかと思います。学生の独創的な発想と、皆様からの貴重なご助言との相互作用により、新たなテクノロジーが創出され、それを社会実装へと結実させていく場を提供することこそが、本コンソーシアムの重要な使命であると考えております。

三年目を迎えた今、理系コンソーシアムは、これまでの成果を礎として、次なる発展段階へと歩みを進めてまいります。今後とも、関係各位と緊密に連携しながら、理系人材の育成と社会への価値創出に一層貢献していく所存です。引き続き、変わらぬご高配とご支援を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

『令和7年度 法政大学全国卒業生の集い 福岡大会』 参加報告

法政大学理系同窓会 理事 高橋 敏男 (建築72)

10月17日～19日の3日間、恒例事業の1つ『法政大学全国卒業生の集い』福岡大会が福岡市内で開催されました。本年度も17日のゴルフ大会から始まりました。私は中日の式典・懇親会と翌日のエクスカーションに、ここ数年参加している。毎年秋開催の一大イベントであり、各地校友会員の活躍が知れ、喜ばしく、且つ元気が貰えるからです。更に風光明媚な観光地見学と特色ある食べ物が味わえる一石二鳥の旅になっています。

式典当日の午前中に「土業の会」主催ミニセミナーがありました。参加された理系同窓会村主会長伝の概要を紹介すると、「相続・遺産分割の基礎 (相続イロハのイ)」という演題で安江弁護士は相続人の範囲・遺言の有無と遺言書作成や家族間の話し合いが円満解決の鍵だということでした。身近な問題であり、次回全国卒業生の集いに、是非参加して聴講されることをお勧めします。

なおセミナー開始前に箱根駅伝予選会は終わっていましたが、途中経過では10人共、中位だったこともあり、期待していたが、結果は11位で会場は残念な思いに包まれましたそうです。

さて18日の大会式典は竹中会長の開会挨拶に始まり、福岡県知事、菅氏のビデオメッセージ、福岡市長と続いて、ダイアナ・コー総長の講演、更に電気電子工学科出身の原昌宏氏の講演となり、原氏はクイズ形式でQRコードがより身近な存在になっていると教えてくれました。理系コンソーシアム運営委員長 伊藤一之教授は、福岡や九州拠点の自治体・企業とのコンソーシアムへの参加を期待した。またOBOG関係企業が講師の社会連携講座の一例として、文化シャッター会長塩崎氏と同社社員が登壇、情報伝達の仕組みが必須であることをアピールした。

教室からは創成科学科田中准教授の「星野村から星空の未来をひらく」の演題で福岡県八女



(原昌宏名誉博士のQRコード解説)



(伊藤一之教授の理系コンソーシアム解説)

市での6年間の研究成果が報告された。①星野アストロスクール/地域の学校の天文台の存在が大きい。学生が協働し星空を観察する地域の学び場になっている。②空き家問題等地域課題への対応/移住者と所有者の橋渡し・空き家の将来を考える

WSを実施し、移住を支援している。③星空保護区推進活動/星野村で光害調査・住民講座を実施し地域・大学・行政が協働で星空の環境づくりを推進している等、地域と共に活動する学生の姿が紹介された。卒業後に八女市に入りゼミの延長で活動中の戸澤さんの活動報告もあり、今後の展開が楽しみです。

懇親会はホテルニューオータニ博多で開催され、入口から大学のイメージカラー (今まで無かった?)、オレンジ色のテーブルクロスだった。うまかもん、囲んで、語らんねー。法政の絆。開始直後に司会が当初予定の松下さん (女性アナ) は野球場で祝勝会のビールかけを伝える要員として急遽欠席となったと報告があり、終演まで独り頑張った男性アナの浜崎氏に感謝申し上げたい。

翌日(19日)のエクスカーションでは宗像コースに参加しました。当日駅伝コースを通ると交通渋滞のリスクがあるため見学順を変更して、初めに“宗像大社”、次に“ナカマル醤油”、“玄海旅館での昼食”、“道の駅むなかた”と見学することになりました。初めて参詣した宗像大社の奥ゆかしさも勿論ですが、なかでも玄界灘を目前にした玄海旅館の昼食で摂った鯛料理は美味しかったので印象に残っている。



(戸澤さんの八女市での活動報告)



(懇親会の様子)



(宗像大社大鳥居)



株式会社 フジテック 一信州の自然と未来を創造する建設コンサルタント

あなたは大きな会社の小さな歯車で働きたいか?、小さな会社で大きな歯車となって働きたいか?、後者を希望する方は是非弊社に連絡を! 会社説明会は随時開催 直接お申込みください。直接応募により入社した方には特典があります。

働き方改革先進企業 : 【テレワーク、フレックス、休暇・各種手当充実】

採用担当 : 小林 功 TEL : 026-285-2553 E-mail : isao@k-fujitec.co.jp



理系同窓会 理事
法政大学理系コンソーシアム 運営委員長

伊藤 一之

計測 1996年卒

〒184-8584 小金井市梶野町3-7-2

TEL 042-387-6093

https://www.k.hosei.ac.jp/ito/

理系同窓会事務局
法政大学理系コンソーシアム 事務局長

碓井 正博

法律 1984年卒

〒184-8584 小金井市梶野町3-7-2

TEL 042-387-6385

中尾建設工業(株)

代表取締役 中尾 美佐男

建築 1982年卒

〒175-0083 板橋区徳丸4-11-2

TEL 03-3935-3311

学部長挨拶



理工学部長
安田 彰

はじめに、2025年度より航空操縦専修の学生募集を停止することとなりましたので、ご報告いたします。本決定は、十分な教育・訓練環境を将来にわたり安定的に確保することが困難となったため苦渋の選択でした。これまで航空操縦専修を修了された卒業生の皆様、ならびに関係各位にとっ

ては、大変残念なお知らせとなりましたことを、心よりお詫び申し上げます。一方で、航空宇宙分野に関連する技術そのものは、今後の社会を支える基幹産業として、これまで以上に重要性を増していくと考えております。航空機、宇宙システム、関連材料、制御、情報技術など、理工学部が担うべき教育・研究領域は、むしろ広がりを見せています。

また、ここ数年のAI技術の急速な発展は、大学教育の在り方そのものに大きな変革を迫っています。AIは教育・研究においても不可欠な存在となっていますが、同時に「自ら考える力」を失ってはなりません。理工学において、新しい「もの」や「こと」を実現するためには、既存の延長ではない新しいアイデアの創出が不可欠です。AIに過度に依存し、思考停止してい

ないかを、常に問い直す必要があります。

社会が直面するさまざまな課題を解決するためには、AIを活用しつつも、それを「自分ごと」として徹底的に考え抜く姿勢が何より重要です。理工学部では、そのような人材の育成を強く意識した教育を進めてまいります。

このような背景のもと、理工学部では、AIの基礎理論から応用に至る科目群の充実、ならびに航空宇宙分野に関連する教育内容のさらなる強化を含めたカリキュラム改編を計画しております。時代の要請に応え、同時に、本学らしい「考え抜く力」を育む教育を実現していきたいと考えております。今後とも、皆様からのご指導とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



生命科学部長
濱本 宏

2024年4月より生命科学部長を務めます濱本宏です。生命科学部が設立された2008年に兼任講師として学生の教育に参加し、2010年に専任教員となり、以来学部の教育、研究、さらに運営にも携わってきました。

小金井キャンパスに16年の勤務となり、大学を卒業して以来企業や研究所、大学など行き来する人生の中で、最も長い時間お世話になっております。私が就任した時は、もっと昔を知る工学部時代からの先生方に、キャンパスの逸話や武勇伝を含めいろいろと教えていただきました。時は経ち、今では私も小金井に長い教員の仲間入りをして、昔のことを語り伝える立場になってきたことを感じます。東日本大震災とその後、の非常事態や、新型コロナウイルス蔓延とそれに伴う非日常を小金井キャンパスはどのように経験し、乗り越えてきたのか知らない教員も多くなってきました。キャンパスの建物も変わりましたし、東小金井の

駅と駅の周りも大きく変わり、道路も拡張されました。そして、時代が、世界が急速に変わっていると思います。新しいテクノロジーが次々に現れます。「生成AI」は驚きです。使いこなすことが求められています。一方、フェイクに騙されない心構えも必要になってきました。やはり、未来を生成AIに判断させるのは違うと思います。自ら考え判断して、変化に遅れないようにしなければなりません。法政の未来を築くためには、ともに昔を知り、それぞれの立場で活躍される卒業生の皆さんとの語り合いが必要と考えます。今後ともどうかよろしく申し上げます。



情報科学部長
尾花 賢

同窓生の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より本学部の教育・研究活動に対し、多大なるご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本年度、情報科学部は学部創立25周

年という大きな節目を迎えました。去る11月8日には、これを記念した式典および懇親会を挙げていただきました。当日は、懐かしい顔ぶれから現役学生まで、世代を超えた多くの皆様にお集まりいただき、会場は終始熱気と笑顔に包まれました。皆様と共に歩んできた四半世紀の歩みを振り返り、絆を再確認できたことは、学部にとって何よりの財産となりました。盛況のうちに全日程を終えられましたこと、改めて深く感謝申し上げます。

この1年を振り返りますと、我々を取り巻く情報科学の世界は、まさに激動の渦中にありました。特に生成AIの飛躍的な進化と普及は、技術の粋を超え、社会のあり方や知の創造プロセスそのものを根本から

変容させつつあります。また、量子コンピューティングの実用化に向けた進展や、データサイエンスを基盤としたDX（デジタルトランスフォーメーション）の加速など、本学部がこれまで培ってきた知見が社会から必要とされる場面は、かつてないほどに広がっています。

情報化社会の黎明期に誕生した本学部は、今や時代の先導役としての役割を期待されています。次なる25年に向け、変化を恐れず、常に最先端の知を追求し、社会に貢献できる人材を輩出し続けていく所存です。同窓生の皆様には、今後とも変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。末筆ながら、皆様の益々のご健勝とご多幸を心より祈念いたします。



デザイン工学部長
岩佐 明彦

2025年4月にデザイン工学部部長に就任いたしました、岩佐明彦です。

近年は災害の多い年が続いており、2025年も例外ではありませんでした。私は建築計画学を専門とし、建築を計画的に設計・

建設し、さらに運営していく仕組みについて研究してきました。建築は竣工した時点で完成するものではなく、使われ、変化し、やがて役目を終えるまでの長い時間を生きる存在です。その過程で、当初の計画通りに進む建築はむしろ稀であり、計画後に生じる予定外の出来事にどのように対応するかが重要な課題となります。

こうした関心から、災害によって不意のダメージを受けた居住環境の研究にも取り組んでおり、被災地に足を運び、被災された方々へのインタビュー調査を行う機会も多くあります。災害によって大きな負担を負われた方々にお話を伺うには細心の配慮が不可欠ですが、その際に心強く感じるの

が「法政大学」という名前の力です。各地にOBOGや関係者の方々がおられ、法政大学と名乗るだけで会話が広がり、調査が円滑に進むことも少なくありません。法政ファミリーの人的資産の豊かさや温かさに、あらためて感謝しています。

近年は地震と水害が重なるなど、複合型災害が新たな課題となっています。このような高度に情報化された社会において、予定外の出来事に備えるためには、理工学系分野の連携がこれまで以上に重要です。学内はもとより、同窓生の皆さまとのつながりを大切にしながら、社会に貢献できる学部運営を進めてまいります。今後ともご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

理系4学部 専任教員 研究・教育活動に対する受賞・表彰者一覧

学部	教員名	所属等	受賞年月日	受賞名、授与機関等、受賞・表彰概要	
理工学部	新井 和吉	機械工学科教授	2024/5/22	功績賞 (中村賞)	日本材料科学会
			2024/10/25	高圧ガス保安協会 会長表彰 (保安功績者)	第61回 高圧ガス保安全国大会
	川上 忠重	機械工学科教授	2024/9/21	優秀発表賞	日本設計工学会、2024年度春季大会研究発表講演会
	小泉 隆行	機械工学科准教授	2025/3/8	澤村論文賞 (Sawamura Award)	日本鉄鋼協会 (The Iron and Steel Institute of Japan)
			2024/11/3	日本ばね学会 2024年度論文賞	日本ばね学会
	吉田 一郎	機械工学科教授	2024/4/5	精密工学会 功労賞	公益社団法人 精密工学会
			2025/3/7	法政科学技術フォーラム 2025 最優秀発表賞	一般社団法人法政大学理系コンソーシアム
	伊藤 一之	電気電子工学科教授	2024/8/29	Best Paper Award	The 12th International IEEE Conference on Intelligent Systems
	岡本 吉史	電気電子工学科教授	2024/4/1	IEEE Sensors Letters 2024年4月号の Front Page (表紙)	IEEE Sensors Letters, Vol. 8, No. 4, Apr. 2024
			2024/7/1	IEEE Transactions on Magnetics、2024年7月号の Front Page (表紙)	IEEE Transactions on Magnetics
	笠原 崇史	電気電子工学科准教授	2024/11/27	速報ポスター賞ファイナリスト	第41回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム
	佐々木 秀徳	電気電子工学科専任講師	2025/3/7	法政科学技術フォーラム 2025 報告・優秀発表賞	一般社団法人法政大学理系コンソーシアム
	安田 彰	電気電子工学科教授	2024/1/12	IEEE CT East Joint Japan Chapter ICCE Young Scientist Paper Award	IEEE Consumer Technology Society East Joint Japan Chapter
			2025/10/31	IEEE ICCE Best Session Presentation Award	IEEE
	平原 誠	応用情報工学科准教授	2025/3/7	法政科学技術フォーラム 2025 報告・優秀発表賞	一般社団法人法政大学理系コンソーシアム
	山岸 昌夫	応用情報工学科准教授	2024/6/6	論文賞	電子情報通信学会
	五島 洋行	経営システム工学科教授	2024/9/12	Distinguished Leadership Award	IEOM Society International
			2025/2/20	IEOM 2025 Fellows	IEOM Society International
				Undergraduate Student Paper Competition	IEOM Society International
	田村 信幸	経営システム工学科准教授	2024/8/29	Best Paper Award	11th Asia-Pacific International Symposium on Advanced Reliability and Maintenance Modeling
寺杉 友秀	経営システム工学科教授	2024/11/7	千葉大学 サイエンス・レクチャーシップ・アワード 2024	千葉大学理学部後援会	
劉 慶豊	経営システム工学科教授	2024/9/12	Outstanding Conference Award, the 5th Asia Pacific IEOM Conference	IEOM Society International	
津久浦 健太	同 教務助手 (受賞当時)		the 5th Asia Pacific IEOM Conferenceを主催する功績		
劉 慶豊	経営システム工学科教授	2024/10/14	Outstanding Contribution Award	Academy of Innovation, Entrepreneurship, and Knowledge International Society of Management Engineers	
渡邊 雄二郎	環境応用化学科教授	2024/10/31	学術賞	日本イオン交換学会	
情報科学部	日高 宗一郎	コンピュータ科学科教授	2024/9/12	第40回大会高橋奨励賞	日本ソフトウェア科学会
				異なる同期主体同士の新規接続や同期主体の分割・統合、同じビューに接続しているグループへの同期主体の参入などに系統的に対応できることを、関係データモデルを例に示した	
	佐藤 周平	デジタルメディア学科准教授		VC Young Researcher Award	Visual Computing 2024
			2024/6/1	IE 特別賞	電子情報通信学会 画像工学研究会
	高村 誠之	デジタルメディア学科教授	2024/6/6	業績賞	電子情報通信学会
			2024/8/11	Fellow	International Artificial Intelligence Industry Alliance (AIIA)
			2024/11/23	Recognition (表彰)	IEEE Member and Geographic Activities (MGA) Board
2024/12/31			Certificate of Appreciation (感謝状)	IEEE Region 10	
デザイン工学部	赤松 佳珠子	建築学科教授	2024/04/19	作品選奨	日本建築学会
			2024/06/08	優秀研究発表賞	日本園学会
	安藤 直見	建築学科教授	2024/06/14	功労賞	International Conference on Engineering Graphics and Design
				ルーミアで開催の会議への継続的な参加による工学および建築学におけるグラフィック分野への長年にわたる貢献	
	小堀 哲夫	建築学科教授	2024/07/17	Design Educates Awards Selected in Architectural Design	Laka Foundation
2024/08/06			奨励賞	一般社団法人ニューオフィス推進協会	

学部	教員名	所属等	受賞年月日	受賞名、授与機関等、受賞・表彰概要	
デザイン工学部	小堀 哲夫	建築学科教授	2024/10/11	Honorable Mention	The Farnani Group
				Architecture MasterPrize 2024, Firm of the Year, Honorable Mention in Architecture / Institutional Architecture	
	中野 淳太	建築学科教授	2025/3/13	第 63 回学会賞技術賞	空調調和・衛生工学会
				大林組宿泊研修施設「Port Plus」の環境・設備計画 (計画検証)	
	溝渕 利明	都市環境デザイン工学科教授	2024/10/11	ICE Publishing Award Sir Benjamin Baker Medal	ICE Journal
				Fatigue durability of reinforced concrete bridge deck repair methods	
			2024/10/11	ICE Publishing Awards 2024	ICE (Institution of Civil Engineers); 英国土木学会
				Fatigue durability of reinforced concrete bridge deck repair method (鉄筋コンクリート床版の打換え補修工法の疲労耐久性)	
	今井 龍一	都市環境デザイン工学科教授	2024/4/5	業績賞	情報処理学会
				スポーツ情報処理のためのセンシングデバイス・システムの開発実践	
			2024/06/03	デジタルツイン・DX 論文賞	土木学会
				点群のプロダクトモデルの構築に向けた道路地物の領域データの自動生成に関する研究	
			2024/12/17	AI・データサイエンス論文賞	土木学会
				車両の形状とナンバープレートの分類番号の認識結果を用いた車種判定手法に関する研究	
	山本 佳士	都市環境デザイン工学科教授	2024/12/17	AI・データサイエンス奨励賞	土木学会
	野々部 宏司	システムデザイン学科教授		量子アニーリングおよび一般化 Benders 分解法を用いたトポロジー最適化に関する基礎的研究	
	内田 大介	都市環境デザイン工学科教授	2024/4/14	優秀査読者表彰	土木学会
				構造工学論文集 Vol. 70A	
	福井 恒明	都市環境デザイン工学科教授	2024/05/13	出版文化賞	土木学会
				【書籍名】「土木デザイン ひと・まち・自然をつなぐ仕事」	
安積 伸	システムデザイン学科教授	2024/10/16	グッドデザイン賞	公益財団法人日本デザイン振興会	
			設備用スピーカー「コンパクトスピーカー F シリーズ」		
		2024/11/10	第 52 回角館町榊細工伝統工芸展秋田魁新報社賞	角館町榊細工振興育成協会	
			権ステッカー (伝統工芸・榊細工の樹皮端材を有効活用したステッカー)		
		2025/02/08	SAGA DESIGN AWARD 大賞	佐賀県 さがデザイン	
			地球の環境を守り持続可能な生活を生み出す器 うつら (精成舎)		
山田 泰之	システムデザイン学科准教授 (受賞当時)	2024/12/22	ココヨデザインアワード 2024 ファイナリスト	ココヨ株式会社	
			Universal sticker		
		2024/6/22	2024 年度日本人間工学会 実践論文賞	一般社団法人 日本人間工学会	
			走行時と乗り降りの子どもの安全性を考慮した子ども乗せ自転車の開発		
		2024/10/16	2024 年度グッドデザイン賞	公益財団法人日本デザイン振興会	
			部門:生活家具 対称:KUROSHIRO (家具ブランドについて)		
		2025/2/7	ミラタップデザインアワード 2024 入賞	株式会社ミラタップ	
			Stealth Ventilator		
		2025/2/24	第 4 回フジシール財団賞	公益財団法人フジシール財団	
			開封体験を演出する色とテクスチャが変化する AJISAI シートの研究開発		
田中 豊	システムデザイン学科教授	2024/11/22	Best Paper Award	ICMT2024 (第 27 回メカトロニクス技術に関する国際会議)	
			Additive Printing on Convex and Concave Surfaces with Slant Direct Drive Parallel Mechanism		
姜 理恵	システムデザイン学科教授	2024/07/07	Best Paper Awards	2024 ICSB World Congress	
			Effects of Leadership Program on Development of Generic Skills and Entrepreneurship - Role of Questioning and Reflection Focused Action Learning on Young Adults		
		2025/01/24	10 most impactful papers of 2024	International Council for Small Business (ICSB)	
			アカデミックアントレプレナーへの支援を、その起業動機別に論じた定量研究		

理系 4 学部の受賞記録 (2024年 4月 1日 ~ 2025年 3月 31日) より参照
受賞内容の詳細は <https://www.hosei.ac.jp/info/article-20250828110617/> をご覧ください。

SANKEN
ENVIRONMENTAL ENGINEERING

人と地球に Action を。

建物の未来を創造する。

地球の未来をつないでいく。

私たちは、持続可能な

新たな社会を支えてまいります。

三建設備工業



理工学部・生命科学部・情報科学部・デザイン工学部 新任教員の研究紹介



理工学部
機械工学科
准教授

坂田 繁洋

2025年4月に理工学部機械工学科に着任いたしました。専門は数学です。

法政大学で主として従事する教育は、理工学部の教養教育です。法政大学に着任する前は、早稲田大学グローバルエデュケーションセンター、宮崎大学教育学部、福岡大学理学部応用数学科に勤めていました。

いろいろな数学の教育に従事してきたと自負しています。この経験を法政大学の教養教育に活かせるよう努めます。

興味をもっている数学は、最大最小問題です。特に、幾何学(図形を研究する分野)と解析学(関数を研究する分野)に現れる最大最小問題に興味をもっています。私が気に入っている最大最小問題を1つ紹介します。「Dを平面上の円板(円の周および内部)とする。Dに含まれる三角形の中で、面積が最大となるものを求めよ」です。答えは「Dに内接する(すべての頂点がDの境界上にある)正三角形」です。この問題は、面積を角の大きさの関数として表し、その関数の最大値を与える点を求めて、解きます。すなわち、図形の問題を関数で記述

し、解きます。図形の性質も、関数の性質も楽しめる問題になっています。私自身の研究成果として、面積を別の幾何学的量へ変えた同様の問題に取り組み、それを部分的に解決しました。しかし、その問題には未解決部分が残っているので、現在も研究を継続しています。

私は身の回りの現象を数学で記述し、図形や関数を通じて、現象を理解することに面白さを感じています。また、現象の解析を通じて、図形や関数の新たな性質を発見することにも面白さを感じています。自身の研究の充実を、法政大学の教養教育に還元したいと考えています。どうぞよろしくお願いたします。



理工学部
応用情報工学科
准教授

FRITZ ERIK

2025年4月に理工学部応用情報工学科に着任いたしましたフリッツ エリックと申します。前は小金井キャンパスの隣の東京農工大学に勤めました。2012年4月から理工学部で英語を教えています。2006年から

日本に住んでいます。今年が20年の記念日です。次の20年間日本に住んでいるのは楽しみです。

ここ数年、大学生は英語の授業課題をAIに頼る傾向が強まっています。AIが翻訳やコンテンツ生成を行えるようになった今、新しい言語を学ぶ必要はないと主張する人もいるかもしれません。しかし、AIにできることには限界があります。世界中の研究者と協力して重要な問題を解決することはできません。AIは国際学会で自分の研究を発表する事ができません。笑いや驚き、好奇心を刺激するような対面での会話もできません。人間的な身振り、表情、

反応もありません。個人的な経験や洞察を共有することもできません。だからこそ、私のすべての授業において、人間同士の言語的交流の場を作ることを教育理念としています。すべての授業でグループプロジェクトとグループディスカッションが行われます。英語は生きた言語です。学生は自分の研究、アイデア、意見を英語で伝えられるようになりたいと願っています。私の仕事は、それが実現できる場を作ることです。

私の研究は語彙の習得と国民的アイデンティティが言語学習にどのような影響を与えるかに焦点を当てています。



理工学部
経営システム工学科
准教授

GUILLEMOT
CÉLESTE

2025年4月に経営システム工学科に着任いたしましたギユモ・セレストと申します。フランス・パリ出身で、幼い頃より日本語に強い関心を抱き、学部では日本語と英語を専攻いたしました。その後、博士課程進学のため来日し、2019年に国際基督教大学(ICU)博士後期課程を修了し、言語学の学位を取得しております。

私の専門分野は音声学・音韻論および第二言語音声研究です。人間の言語音を扱う研究は、「なぜ特定の音の並びによって語が構成されるのか」「私たちはどのように音を産出し、どのような仕組みによって他者に理解されるのか」といった言語の根本的な性質を明らかにするために非常に重要です。音声学では、発話を物理的・調音的・音響的観点から分析し、その特徴を総合的に理解することを目指します。

現在、コミュニケーションの効率性に関連して生じる微細な音声変動に特に関心を寄せています。これらの現象を明らかにするため、大規模コーパスに収録された自然発話を対象とした研究を進めております。従来、言語学では質的分析が中心でしたが、近年の技術発展により、統計的・確率

的手法を用いて大規模データを分析することが可能になりました。こうした方法論を取り入れることで、実際のコミュニケーションにおける音声の揺れや規則性、そして話者の選択がどのような情報構造と関係しているのかを明らかにすることを目指しています。

法政大学では主に英語とフランス語の授業を担当しております。自身の多言語的背景を教育にも活かし、学生が多様な言語的視点を身につけられるような学習環境づくりに努めてまいりたいと考えております。未熟者ではございますが、研究活動と教育活動の双方を通じて、本学に貢献できますよう力を尽くしていく所存です。今後ともどうぞよろしくお願いたします。



理工学部
経営システム工学科
准教授

劉 子昂

2025年4月より、理工学部経営システム工学科に着任いたしました劉子昂と申します。2021年3月に大阪大学博士後期課程を修了し、2021年4月から2025年3月までは、岡山大学で助教としてシステム工学に関する研究・教育に従事しておりました。

私の専門は経営工学であり、主に複雑なシステムの最適化に関する研究を行っています。

現代社会では、生産システムや物流システムをはじめとする多様なシステムが私たちの生活を支えています。これらのシステムは多くの要素が組み合わさって機能しており、不確実性を伴うことが多く、限られた資源の中で効率的に運用するための意思決定が重要となります。最適化はこのような課題に対して、重要な役割を果たします。例えば、在庫システムにおいては、需要の不確実性を考慮しつつ、顧客のサービスレベルを維持しながらコストを最小化する最適な発注戦略を求めることができます。

私は、サプライチェーン、在庫システム、生産システムなどを研究対象とし、機械学習、数理計画法、ゲーム理論などの理論を用いて、モデリング、高速アルゴリズム、最適化手法の開発に取り組んでいます。近年では、サプライチェーンにおけるデータ駆動最適化、深層強化学習を用いた在庫システム最適化、機械学習の説明可能性に関する研究に注力しています。

まだまだ未熟者ではございますが、研究・教育活動を通して、法政大学のさらなる発展に貢献できるよう努めてまいります。ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いたします。

理工学部・生命科学部・情報科学部・デザイン工学部 新任教員の研究紹介



生命科学部
環境応用化学科
准教授

藤井孝太郎

2025年4月より生命科学部環境応用化学科に着任いたしました、藤井孝太郎と申します。本学着任前は、東京工業大学（現：東京科学大学）理学院にて、助教として主に機能性セラミックスの新材料探索は、放射光X線や中性子を使った結晶構造解析に

基づく構造科学研究に従事しておりました。私の専門は「固体材料化学」です。新しい機能を持つ無機材料、有機材料、およびそれらの複合材料を探索し、その結晶構造を調べることで、機能発現のメカニズムを解明する研究を行っています。特に力を入れているのが、燃料電池などの次世代エネルギーデバイスへの応用が期待されるイオン伝導体の新材料探索です。様々な新しい戦略で新しい材料を見つけ、将来的な応用を目指して研究を進めています。また、単に新しい材料を探索するだけではなく、X線や中性子を使った構造解析から、「なぜその材料がイオンを流すのか?」「どうすればより高性能になるのか?」を明らか

にして、効率的に新材料を探索することを目指しています。

法政大学では、こうした最先端の研究活動を通じて、学生の皆さんと共に「まだ誰も知らない新しい物質を見つける喜び」や「自然の仕組みを解き明かす楽しさ」を共有したいと考えています。化学の専門知識はもちろんのこと、実験結果を論理的に考察し、物事の本質を見抜く力を養えるような教育・研究環境を作っていきたく思っております。伝統ある法政大学の一員として、教育・研究の発展に貢献できるよう尽力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



デザイン工学部
建築学科
教授

加用現空

2025年4月より、デザイン工学部建築学科に着任しました。建築環境工学を基盤に、建築や都市に関わる熱・光・空気など

の環境要素を数値モデルやシミュレーションで捉え、建築の形態や計画、エネルギーの扱い方との関係を検討してきました。研究の対象は建築単体に限らず、建築が集まることで生じる環境やエネルギーの振る舞いにも広がっています。設計や計画の過程で、環境条件がどのように前提として扱われ、判断に関わっているのかを整理し、共有可能な形にすることを重視しています。

アアルト大学およびスウェーデン王立工科大学では研究員として在籍し、北欧の気候や建築文化のもとで研究を行ってきまし

た。また、国際エネルギー機関 (IEA) では、建築環境性能評価やエネルギーモデリングに関する国際共同研究にも携わっています。

現在は、環境情報の整理や評価の枠組みに関心を持ち、建築や都市を考える際に、どの条件が設計や計画に影響しているのかを検討しています。教育では、図面や提案を読み解く中で、環境条件と設計判断の関係を目を向け、建築を見る視点が広がるような学びの場を提供していきたいと考えています。



デザイン工学部
建築学科
専任講師

藤本貴子

2025年4月にデザイン工学部建築学科専任講師として着任いたしました。建築学科には、2020年10月から教務助手としてお世話になっていました。引き続き法政大学において教育に携わる機会をいただき、大変光栄に思っています。

私の専門は近現代の建築アーカイブズです。近現代建築資料保存の重要性は、近代

建築史研究の進展と近代建築保存の動きに後押しされる形で、1980年代から認識されてきましたが、資料を扱ってきたのはほぼ建築史研究者で、専門的に資料整理・管理と活用を担うアーキビストの育成は進んできませんでした。私は建築事務所勤務の際に資料整理に携わったことからアーカイブズの世界に興味を持ち、文化庁新進芸術家海外研修員として欧米の建築アーカイブズ機関で研修・調査を行いました。帰国後は文化庁国立近現代建築資料館に勤務しながら、建築アーカイブズの研究も進めてきました。建築文化を包括的に扱い、継承するための専門的な職能の必要性を感じています。

2021年からは、建築学科の基礎を築いた大江宏の資料を預かり、整理と活用に取り

組んでいます。資料整理の過程で、大江が法政大学市ヶ谷キャンパスの整備に携わる中で自身の建築観を刷新し発展させていったこと、その追求が博士論文に結実し、また翻って大学教育にも反映させてきたことが理解できました。活用を通じて、アーカイブズがコミュニティ紐帯のために果たす役割があることも実感しています。

どのような教育が学生と建築文化に寄与するのか、まだまだ手探りの状態ではありますが、法政大学の一員であること、また建築という複雑かつ複合的な領域を学ぶことに学生が誇りを持つことができるような教育を目指して頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

理系同窓会

相談役 **松谷 勝**
電気 1971年卒

〒359-1146 所沢市小手指南6-14-9
TEL 04-2949-7388

理系同窓会 理事
法政大学理系コンソーシアム 理事長

理工学部長 **安田 彰**
電気 1986年卒

〒184-8584 小金井市梶野町3-7-2
TEL 042-387-6385

理系同窓会

理事 **山川 宏明**
土木 1984年卒

日建リース工業(株) 営業推進部長
〒101-0064 東京都千代田区神田猿楽町2-7-8
住友水道橋ビル1階
TEL 03-3295-9111(代表)

理系同窓会

副事務局長 **吉田 一郎**

〒184-8584 小金井市梶野町3-7-2
法政大学 理工学部 機械工学科 吉田一郎研究室
機械工学専修・航空操縦学専修 教授
TEL 042-387-6111

理系同窓会

事務局長 **渡邊 雄二郎**
物質 2000年卒

〒184-8584 小金井市梶野町3-7-2
TEL 042-387-6338

同窓会ホームページへ
お立ち寄りください



<http://133.25.196.100/index.php>
メールは hosei.rikei.alumni@gmail.com



デザイン工学部
都市環境デザイン工学科
教授

上山 肇

2024年4月よりデザイン工学部都市環境デザイン工学科でお世話になっております上山肇と申します。これまでは大学院政策創造研究科に所属しておりましたが、2025年度に大学内の組織見直しに伴い、デザイン工学部都市環境デザイン工学科に所属させていただきますながら大学院地域創造インス

ティテュートにおいて引き続き社会人大学院生を主に対象として教育・研究活動を行なっております。

私の専門は都市政策ですが、私の研究室では、広く「まちづくり」を研究テーマとして取り上げています。具体的には都市計画や地区計画、地域創生、地域活性化、市民参加・協働、コミュニティ形成、新しい技術の活用（ロボティクス）等に関する研究、社会実験（社会実装）を行っており、行政（自治体等）やコンサル、民間企業等で政策立案をできるような人材を育成しています。

現在、研究室で行っている新しい技術の活用に関する研究については、皆さんの身近に存在するようになったサイネージ付モ

バイルバッテリーチャージャーを活用した情報発信（主に防災・災害時の情報）やホテルにおけるロボット（受付・警備・清掃・配膳）の活用に関する実装実験を実施しています。今後、いつ起こるかかわからない自然災害への備えや人口減少に伴う働き方改革のためにも、こうした研究を進めることで、新しい技術が公共施設を含め市民に身近な場面で一層活用されることが考えられます。

このように、社会において私たちに身近なことをテーマに取り上げながら実践型の研究を幅広く行っていますが、機会があればご活躍の皆様とも情報交換ができればと思います。どうぞよろしく願いいたします。



デザイン工学部
都市環境デザイン工学科
准教授

原田大輔

2025年4月にデザイン工学部都市環境デザイン工学科に着任いたしました。着任前は、国立研究開発法人土木研究所で、国内外の河川工学に関わる研究・教育を行っていました。

私が専門とする水工学・河川工学の分野

では昨今、河川の分野では気候変動によって、これまでに経験したことの無いような洪水災害が起きるリスクが高まりつつあります。例えば能登半島では、地震と洪水の複合要因により、大きな被害が生まれました。また人間活動の影響により、河川の環境は人類史上類を見ないほど大きく変化しつつあります。河川の氾濫による洪水災害を軽減することと、豊かな河川環境とを両立することは一見相反するようですが、私はこれらを両立し、安全で豊かな川づくりに資することを目指して研究を行っています。

研究手法としては、河川の流れや土砂の動きの観測と数値解析によるシミュレーションを主体としています。その一方で、数

値解析技術が急速に進展し、またAIなど物理モデルによらない技術が新しく台頭する中であって、私たちの分野は、河川の現場を見て、その面白さと悩ましさをよく理解し、あるいは現場から解決すべき課題を発掘すること自体が極めて重要なことだと考えています。そのため、学生と共に足しげく河川の現場に通い、現場で議論しつつ、研究室に帰って数値解析を行う、このサイクルを回すことで、研究を進展させ、その中で学生の教育を行うことを重視しています。法政大学では、このような研究・教育の両面で社会に貢献していきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

Be the solution partner.

ともに価値を創造し、世界を広げる。

フコク物産株式会社

FUKOKU BUSSAN CO.,LTD.

〒143-8531

東京都大田区大森西二丁目32番7号

TEL : 03-3765-3211 (代表)

FAX : 03-3765-3208

<https://fukoku-jp.net/>

詳しくは
HPをご覧ください





デザイン工学部
都市環境デザイン工学科
教授

尾関智子

2025年4月、デザイン工学部都市環境デザイン工学科に着任しました尾関智子です。これまでの機械学習研究の経験を生かし、「土木工学×AI」をキーワードに新たな研究に取り組んでおります。

着任前は、20年間東海大学において専任教員として教育・研究に従事してまいりました。

した。物理学の博士号取得後、理化学研究所で機械学習理論の研究を行い、その後、前職では画像認識、音声認識、自然言語処理、ロボットシミュレーション、ゲームAI、医療ビッグデータ解析など多岐にわたる応用研究に取り組んできました。

現在は、コンクリート構造物の打音検査や電磁波レーダー画像の解析、橋梁点検調査などのテキストデータから知識を獲得する研究を進めています。これらは老朽化した社会インフラの安全性を高め、長寿化に貢献する技術として期待されています。土木分野には現場に根ざした豊富なデータと長年の知見があり、AIによって新たな価値を生み出せる可能性を強く感じています。

これまでの研究から得た強みとして、学生時代に培った物理的な視点があります。機械学習モデルのパラメータ空間に現れる特異点を理論的に解析し、学習停滞現象の本質を解明してきた経験から、単なる適用にとどまらず、モデルの特性を踏まえた深いAI活用を提案できる点が特徴です。

すぐに成果が出る研究ばかりではありませんが、理論に根ざした機械学習と土木分野への応用を探索してまいります。

同窓会の皆様と今後さまざまな形で交流させていただきながら、土木分野におけるAI活用の推進と、次世代の担い手となる学生の育成に力を注ぎ、本学の発展に貢献してまいりたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願いたします。



デザイン工学部
システムデザイン学科
教授

坂本和子

2025年4月よりデザイン工学部システムデザイン学科に着任いたしました坂本和子と申します。それ以前は法政大学経営大学院イノベーション・マネジメント研究科に所属しており、民間企業（NEC：日本電気株式会社）からアカデミアへ転身し、京都工芸繊維大学および豊橋技術科学大学

で教育と研究に従事してまいりました。

私の研究領域は、「人間の感性と社会的価値を結ぶデザイン」にあります。消費者行動論を基軸としつつ、デザイン学、言語学、認知科学などの知見を横断的に用いながら、人がデザインをどのように知覚し、意味づけ、評価するのかを実証的に探ってきました。初期の研究では、UXや製品の形状、インターフェースに着目し、視覚的な特徴が感情や行動に及ぼす影響を分析してきましたが、次第に関心は、そうしたデザインが文化や制度の中でどのように理解され、受容されるのかという社会的側面へと広がっていきました。

近年は、デザインの類似や模倣をめぐる評価の揺らぎに着目し、消費者の知覚、文

化的背景、さらには意匠制度との関係を視野に入れた学際的研究を進めています。また、ロボットデザインを対象に、「不完全さ」や「違和感」といった一見ネガティブに見える要素が、人とモノの関係性にどのような価値をもたらすのかを検討しています。これらの研究では、脳科学や生理学的指標を組み合わせることで、人間の嗜好やセンスをより頑健に捉える新たな方法論の構築を目指しています。

法政大学という新たな環境のもとで、これまでの経験を活かし、デザイン科学研究をさらに深めるとともに、学生の皆さんとともに学び成長していければと存じます。どうぞよろしくお願申し上げます。



デザイン工学部
システムデザイン学科
教授

都丸孝之

2025年4月よりデザイン工学部システムデザイン学科に着任いたしました、都丸孝之と申します。工学的視点と経営学を融合させ、複雑な社会課題を解決する「価値創造」を念頭に、次の3つの教育・研究活動に従事しています。

1. 新規ビジネス創出と価値デザイン：顧客価値分析を基盤に、デザイン思考やシステム思考、創造的思考を統合したビジネス創出と価値デザインの教育に力を入れています。単なるアイデア創出に留まらず、現場観察や顧客の行動分析等を通じて現場や顧客の潜在的な課題を浮き彫りにし、チーム協働によって新たなソリューションを生み出す教育プログラムを展開しています。
2. 製品の生産・品質マネジメント：電子部品の故障診断やリーン品質評価プロセスなど、工学的なアプローチを用いた研究に従事しています。また、工場経営ゲームやビールゲームなど学生が楽しみながら生産管理を学ぶことのできる教育プログラムを展開しています。
3. 地域創生とソーシャルデザイン：農家の高齢化や耕作放棄地の増加といった身近な社会課題に取り組んでいます。具体的には、みかん畑の耕作放棄地の再生や無農薬レモン生産による農家の収益性評価など、現場課題を解決するためのソリューションの提案や事業性検証などを通じて、地域経済を維持・発展させるためのソーシャルビジネスをデザインしています。

本学では、自身の教育・研究活動で得た知見を積極的に活用し、学問の面白さと社会との繋がりを学生に伝えていきたいと考えています。皆様のご指導を仰ぎながら、学生が安心して学び、大きく成長できる環境づくりに尽力したいと考えております。どうぞよろしくお願いたします。



デザイン工学部
システムデザイン学科
助教

坂間清子

2025年4月より、デザイン工学部システムデザイン学科の助教として着任いたしました。坂間と申します。

私は、デザイン工学部が新設された2007年に第一期生として本学部に入學し、学部3年次より田中豊先生の研究室に所属し、

博士後期課程修了まで大変お世話になりました。修了後は、青山学院大学理工学部機械創造工学科にて助教として教育・研究に携わり、その後、産業技術総合研究所において研究員として研究活動を続けてまいりました。本年度より本学理事にご就任された田中先生のサポートを行うため、このたび助教として母校に戻ってまいりました。学生時代を過ごした大学に、今度は教員として関わる機会をいただけましたことを、大変お光栄に感じております。

本学部・学科に戻るの約10年ぶりとなりますが、その間に教育カリキュラムや授業内容は大きく進化しており、私自身も日々勉強しながら教育活動に取り組んでい

るところです。学生時代には、油圧動力伝達システムにおける作動油中の気泡に関する研究に取り組み、大学院修了後も、その研究を基盤として油圧機器の解析や実験評価、新たなシステム開発などに携わってきました。

今後は、これまでの経験を生かしながら、学生がものづくりの楽しさや学ぶことの面白さを実感できる教育を目指していきたいと考えています。微力ではありますが、母校の発展に少しでも貢献できるよう努めてまいりますので、同窓の皆様におかれましては、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

活躍するOB・OG

デザイン工学科

このたびは、理系同窓会特別賞という荣誉ある賞を賜り、心より御礼申し上げます。私は1997年に法政大学大学院建築学専攻修士課程を修了し、現在は同じ法政大学で教壇に立ちながら、建築の設計実務に携わっています。学生時代、「建築家になる」という大きな夢を抱いて法政の門をくぐりましたが、いま建築家として仕事をし、さらに母校で後進の指導にあたっている自分の姿は、当時まったく想像していませんでした。ここでは、法政での学びと山での経験が、どのように現在の建築観と実践につながっているのかをお話したいと思います。

大学院では陣内秀信研究室に所属し、フィールドワークやデザイナーサーベイを通じて都市や建築に向き合う姿勢を徹底的に鍛えられました。図面の上の建物ではなく、「現実の場」としての建築・都市を、身体的・社会的・歴史的なコンテクストと切り離せないものとして捉える訓練です。光や音、匂い、時間の移ろい、他者との距離感といった、図面には表れにくい要素を、歩き、佇み、スケッチし、写真や映像に記録することですくい取り、それを設計判断の感性と基準へと昇華していく。こうしたプロセスは、建築を「批判的リサーチ」に支えられた行為として捉える視点を与えてくれました。かただけでなく、使われ方や生活行為、歴史の変遷、制度や経済条件までを含めて丹念に調査し記述することで、人文社会的素養と工学的合理性を統合した「広い視野と創造性」を育む——この法政の建築教育の姿勢は、いまま設計と教育の両方を根底で支えています。

もう一つ、学生時代の私を強く形づくったのは登山です。大学一年のとき、仲間たちと探検サークル「トロイメン(träumen=夢見る、妄想する)」を立ち上げ、日本各地の山を歩きました。山は美しく、その空間性や造形性は、建築家の目から見ても強い感動を呼び起こします。しかし、その頂に立つまでには、綿密なリサーチと準備、信頼できる仲間、そして体力と気力が欠かせません。難度が上がれば上がるほど、たどり着いたときに目の前に開ける風景は、言葉にならないほどの重みを帯びてきます。なかでも忘れがたいのが、北アルプス・槍ヶ岳北鎌尾根の厳冬期です。長大なアプローチの末、雪と岩が入り混じる細い稜線を数日にわたって辿り、最後に槍の穂先を直登するこのクラシックルートは、積雪期北アルプスのなかでもとりわけ「帰還が難しい」高難度・高リスクの世界として知られ、熟達者のみが挑むべき領域とされてきました。

その北鎌尾根の世界を私に開いてくれたのが、登山家・土橋敬司さんです。1960年代から活動を続け、とくに冬季登攀やバリエーションルートで実績を重ねたアルパインクライマーで、多くの後進から「師匠」「鉄人」と呼ばれてきました。冬の穂高岳ジャンダルムでの出会いをきっかけに、アイスクライミングや谷川岳ノ倉沢にもご一緒し、技術だけでなく、山への向き合い方や情熱を教わりました。土橋さんは、単独・厳冬期の北鎌尾

根に何度も挑み続けた方です。私たちもその背中を追うように厳冬期の北鎌尾根にチャレンジし、仲間三人で登頂することができましたが、ご本人はその後の北鎌尾根単独行から戻ることはありませんでした。71歳での入山後に行方不明となり、たび重なる大規模な捜索が行われたものの、「鉄人の不在」はいまも多くの中山の心に深い余韻を残しています。情熱を貫くことの素晴らしさと同時に、極限の追求が死と隣り合わせであるという厳しい現実。その世界にかつて憧れた感覚は、いま山から少し距離を置いている現在も、身体の奥深くに刻まれたままです。

建築に向き合うとき、私はしばしば山の記憶に立ち返ります。日本建築学会作品賞をいただいたロキグローバルイノベーションセンターは、大きな山に挑むような気持ちで取り組んだプロジェクトでした。大規模な組織設計事務所を離れ、後ろ盾のない独立した立場で挑むことは、ある意味で立ち足かかるの垂直の壁に一步踏み出すような感覚でもありました。自然光の移ろい、風の通り道、音の静けさ、テントの中で感じる安堵感——そうした山での空間体験は、自分の建築の原点となっています。山で感じる感覚とは、身体・感情・思考が同時に立ち上がり、「世界と直接つながっている」と実感する経験です。人間が自然の一部として世界に参加するその感覚を、都市や建築の空間のなかにどう立ち上げるか。ロキグローバルイノベーションセンターは、その問いへのひとつの応答でもあります。

無酸素単独でエベレスト初登頂を果たしたラインホルト・メスナーは、登山を「ボディ(Body)」「マインド(Mind)」「スピリット(Spirit)」の三層の限界実験として語っています。ボディは極限環境にさらされる肉体そのもの、マインドは恐怖や疲労、孤独のなかでも状況を読み取り、ときに撤退を選ぶ判断と意志の力、そしてスピリットは「自分は何者か」「なぜ生きるのか」を問う存在論的な感覚であり、自然と一体になるような経験で



イタリア・レッチェでの調査



左から 村主会長 小堀先生 佐藤相談役



特別賞表彰状

す。頂に立つこと以上に、山のなかで自分の内側に何が起きているのかにこそ意味がある——というメスナーの視点は、建築に向き合う自分の姿勢とも重なります。

建築の設計は、図面の上で完結する作業ではありません。身体を通して世界と関わり、マインドで状況を批判的に読み解き、スピリットのレベルで「この場所で、人はどう生きるのか」を問い続ける営みだと感じています。これからも、山で学んだ感覚と、法政陣内研究室で培ったフィールドワークとリサーチの精神を忘れず、全身全霊で建築と向き合っていきたいと思います。理系同窓会特別賞を励みに、今後も母校の名に恥じない仕事を重ねていく所存です。ありがとうございました。



仲間達とともに氷壁へ向かう



私たちがつなぐもの

それは、だれかの安心、だれかの笑顔、だれかの願いだから、
あたりまえの日常を、ささえつづけるために
つなごう、想いを、明日を。

ひとりひとりが、未来を灯す。

KANDENKO

〒108-8533 東京都港区芝浦4丁目8番33号 <https://www.kandenko.co.jp/>

CITIZEN

Creating new value

今ある価値の、その先へ

シチズンマシナリーは、お客さまの役に立つ機械と、
それを使いこなす技術、デジタル技術の提供によって、
人と機械の関係にまだ見ぬ価値を創造します。



シチズン
マシナリー
採用サイト

シチズンマシナリー株式会社

窓



電気同窓会

2025年度より、電気同窓会は以下のメンバーを中心に新たな体制で活動を進めています。

会長：宮川 裕之 (電82)
 総務担当：徳丸 侑己 (電11)
 財務担当：鳥飼 弘幸 (電95)
 広報担当：柴山 純 (電93)
 監事担当：李 博隆 (電21)

それぞれの経験と専門性を活かしながら、同窓会活動をより身近に参加しやすいものにしていきたいと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

＜小金井公園でのお花見開催＞

4月5日、小金井公園にて電気同窓会主催のお花見を開催しました。電気電子工学科・安田教授のご厚意により、新入生向けガイダンスの場で本イベントをご案内いただいた結果、卒業生・在学生あわせて約50名が集まり、世代を越えた和やかで活気のある会となりました。在学中から同窓会との接点を持ってもらうことは、同窓会をより身近に感じてもらうための大切な取り組みだと考えています。今後も、在学生が気軽に参加できるイベントを企画し、同窓会との交流の場を広げていきたいと思ひます。



電気同窓会主催のお花見

＜CHANCE研究所のご紹介＞

CHANCE研究所は、電気電子工学科の先生方が中心となって設置・運営されている研究組織です。在学生と企業・研究機関をつなぐ場の一つとして、研究成果報告会などを開催しています。2025年度は10月31日に第4回成果報告会が開催されました。

卒業生の皆様にとっては、リクルート活動や若手人材との出会いの場としても有意義な機会になるかと思ひます。ぜひ関心のある方は、CHANCE研究所の活動にも足を運んでみてください。

(CHANCE研究所研究成果報告会

<https://share.google/9HtDrcOifYFN9rdIxs>)



機械工学科同窓会

2025年度、機械工学科に3名の新しい教員が加わり、教育体制がさらに充実しました。専任教員として着任した坂田繁洋先生は幾何学および解析学をご専門とし、主に数学科目を担当されています。理論的基盤を重視した丁寧な指導で、学生たちの理解を深める授業が行われています。また、教育技術嘱託の木内恵海先生と教務助手の寺尾卓真先生が新たに加わり、実験・実習科目を中心に学生の学びを支えています。実践的な技術を身につける場である実験実習において、お二人のサポートは大きな力となっています。

3年生の必修科目「機械工学実験Ⅲ」では、毎年「公開講座」として卒業生を招いた講演を行っています。今年度は、チャビゲンツィ先生の研究室で修士課程を修了された山田篤史さんをお迎えしました。山田さんには、現在携わっているお仕事の内容や、学生時代の経験がどのように活かされているかなど、実社会に直結した貴重なお話をいただきました。講演を聴いた学生からは、「将来のキャリアを考える良いきっかけになった」、「実務のリアルな話がとても参考になった」といった声が多く寄せられ、強い刺激を受けた様子が見られました。

機械工学科同窓会会長 平野 利幸 (機械98)

都市環境デザイン工学科
『法士会』2025年度活動報告

一昨年度より『法士会』の会報は、ペーパーによる配信をやめ、内容も見直し「法政大学デザイン工学部都市環境デザイン工学科」のホームページの『同窓会』欄に掲載させていただいております。

https://civil.ws.hosei.ac.jp/wp/shinro_tokuchou/alumni_association

(最新2025年3月発行)

また、メールを法士会に登録されている同窓生皆様へは一斉メールで配信しますので、登録がお済みでない方は、houdokai@gmail.comまで登録をお願いいたします。

法士会同窓会の活動は、例年同様、活発に行われました。

主な活動として、6月17日(火)に学科教授と法士会理事との意見交換会で年度計画を協議し活動方針を決定しました。2回の理事会を経て10月2日(木)の午後にキャリアデザインセミナー「第14回卒業生と学生との意見交換会」を開催しました。学生の進学や就職等の進路検討の一助となるよう、授業一環として「第一部」はパネルディスカッション。第二部では業種別に70企業・団体、総勢130名の卒業生と、現役学生が個別意見交換を行い有意義な時間を過ごしました。夕方には地下食堂にて卒業生と在校生が交り懇親も含めた、より深い意見交換会が盛大に開催されました。



意見交換会(懇親会)の様子(市ヶ谷田町校舎地下食堂にて)

12月9日(火)には、卒業生と大学・学生との情報交換ならびに意見交流を目的とした第30回社会工学セミナーを開催(対面+リモート)し50名の参加がありました。大学からは今年度の新任教授、尾関智子教授の「土木×機械学習：打音と記録から“気づき”を得るしくみ」を、また卒業生からは、(株)パスコ取締役上席執行役員の川口剛様(1987年卒)による「人工衛星の基本情報とその活用～衛星ビジネスとそのトピック～」をご講演いただきました。



尾関智子 教授



(株)パスコ 川口剛様

今後の活動として、卒業式に配布している冊子「卒業生に贈る」の編集作業を予定しています。引き続き、卒業生、学部、学科教授と一体となり活動を続けていく所存です。

山川 宏明 (土84)

工体連OB・OG会

工体連OB・OG会は1980年に創立し各部卒業生で構成される組織であります。元々は工学部体育連合会でしたが、工学部の名称が無くなり、伝統の【工体連】の名前を残し「楽しくなければ工体連OB・OG会じゃない」をモットーに活動を続けています。

主な活動は、オール法政新年会への参加・親睦ゴルフ大会・工体連OB・OG現役の集い・各部長会・小金井公園駅伝&BBQ大会等を実施しております。所属クラブの枠を超えても和気藹々とした集まりであります。工体連出身の方はいつでもお待ちしております。また、校友会終身会員登録は【工体連OB・OG会】(NO40028)で登録をお願い致します。

最後になりましたが、理系同窓会・関連同窓会皆様のご発展とご健勝を祈念いたします。

工体連OB・OG会 会長 土居 通明 (経営84)

ボクシング部所属

工体連本部 第18代元委員長



工体連OB・OG会にて
原昌宏様 (QRコード発明者) 講演会後懇親会

窓



法匠会報

法政大学 デザイン工学部 建築学科 同窓会会報

第58号 2026年3月1日

発行所 〒184-8584
 東京都小金井市梶野町 3-7-2
 振替口座 00110-5-89264
 TEL・FAX (042) 387-6385
 法政大学デザイン工学部建築学科同窓会
 発行人 松尾 秀文
 編集人 会報編集委員会

デザイン工学部建築学科同窓会『法匠会』2025年活動

2025年(1~12月)の法匠会の様子を主要な活動で振り返り報告いたします。法匠会が大学・在学生・卒業生とのより活発な交流の場となるための試行・実践を継続した1年であったと思います。活動詳細は、広報活動の一環であるHP〈法匠会|法政大学建築学科同窓会(sakura.ne.jp)〉にて、ここで割愛しました情報も含めご覧いただけます。

1月

●22日、理系同窓会 村主会長の出席をいただいて新年会がボアソナードタワー 25階スタッフクラブにて行われました。さまざまな世代に参加いただき楽しい会となりました。



3月

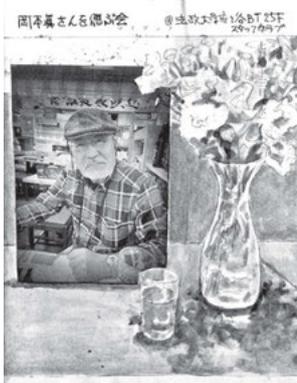
●15日、今年度より建築学科の主催運営となって第21回大江宏賞公開講評審査会が開催されました。8名の熱のこもったプレゼンと、卒業生2名を含む5名の審査員にて3度にわたる議論と投票によって、秩父の自然に深く寄り添いつつデザイン性を確立している点が評価され、斎藤詩織さんの作品が栄冠を獲得しました。



7月

●23日、ボアソナードタワー 25階スタッフクラブにて「岡本眞さんを偲ぶ会」が開かれました。

長く建築学科同窓会会長を務められ、最期まで同窓会活動に尽力された岡本眞さんを、幅広い交友関係の方々が集まり、生前の思い出を語り合い偲ぶ場となりました。



9月

●24~28日、第28回法匠展50^{※1}を開催しました。教員・卒業生の18作品のほか、大江宏賞受賞作の展示、渡辺真理名誉教授「磯崎新のロサンゼルス現代美術館を語る」のギャラリートークなど多様で内容豊かなアート展となりました。加えて、法匠祭〈学生による建築設計作品展〉^{※2}も同時開催され、16作品+3研究室の展示を通じて在学生と卒業生が交歓する盛況な企画となりました。



●27日、市谷田町校舎にて審査員長西沢大良大学院客員教授をはじめとする先生方のお集まりのなか、大江宏賞受賞者斎藤詩織さんへのメダル授与式が行われました。



関連イベント・その他

●12月20日、PORTER'S PAINTSギャラリーにて大江宏建築をテーマとしたトークイベントが開催されました。藤本貴子研究室と新良太・中込亜矢子・西牟田奈々・種田元晴・石井翔大・島田祐輔ら各卒業生の協働による総合展示に基づく企画でした。



●法匠会HP開設以来続いているリレーエッセイは今年も12回の掲載を積み上げました。個々のエッセイの面白さが卒業生の魅力的な今を伝えていきます。法匠会の活動の原動力を表象するHPのコーナーです。

会費一括納入者 (敬称略)

終身会費納入にご協力いただきました。
ご芳名を掲載して感謝を表します。

- 鈴木 明彦 (経営76) | 山田 喜弘 (土木81)
- 原 昌宏 (電気80) | 津保賢太郎 (建築2024)
- 田原 計志 (電気80) | 大室 辰夫 (土木86)

寄付者ご芳名 (敬称略)

2025年12月14日現在、次の方々からご寄付を寄せていただきました。
皆様方の変わらぬご支援とご協力に感謝し、厚く御礼申し上げます。

- 50口 佐野 信幸 (電気61) | 飯島 彰史 (計測95)
- 池田 信之 (建設62) | 福原 廣 (機械65) | 箱崎 泰弘 (建築70)
- 12口 長沼 有 (電気61) | 1口
- 大塚 元章 (電気62) | 5口 田宮 孝一 (機械85)
- 10口 久保 三男 (土木77) | 鈴木延由紀 (電気75)
- 岡本 眞 (建築70) | 4口 安斉 正行 (経営83)
- 田原 計志 (電気80) | 中木 祥人 (電気64) | 小倉 義仁 (電気65)
- 藤田 隆雄 (土木75) | 宮澤 博行 (経営90) | 大森 久雄 (計測72)
- 白井 五郎 (電気65) | 川田 知志 (機械59) | 望月 亮 (土木80)
- 増茂 孝 (経営79) | 3口 有澤 廣久 (経営72)
- 6口 大八木勇夫 (経営67) | 内村 隆一 (計測74)
- 古山 弘 (土木74) | 2口 溝上 和紀 (計測75)
- 卯木 文廣 (土木75) | 金子 明 (機械74) | 岸田 正幸 (計測82)
- 河原 勉 (経営67) | 大柿 仁 (土木79) | 石井 直樹 (物質2009)

教員異動

●新任教員 (2025年4月1日～)

- ◇理工学部◇
 - 機械工学科 坂田 繁洋 准教授
 - 応用情報工学科 FRITZ ERIK 准教授
 - システム工学科 GUILLEMOT CÉLESTE 准教授
 - 劉 子昂 准教授
 - ◇生命科学部◇
 - 環境応用化学科 藤井孝太郎 准教授
- ◇デザイン工学部◇
 - 建築学科 加用 現空 教授
 - 藤本 貴子 専任講師
 - 都市環境デザイン工学科 上山 肇 教授
 - 原田 大輔 准教授
 - 尾関 智子 教授
 - システムデザイン学科 坂本 和子 教授
 - 都丸 孝之 教授
 - 坂間 清子 助教

2024年度 理系同窓会収支決算書

収入の部				2025年3月31日				支出の部				2025年3月31日			
科 目	費 目	2024年度予算	収支累計額	科 目	費 目	2024年度予算	収支累計額								
会 費	年会費	2,000,000	1,276,000	事 務	印刷費	100,000	104,100								
	特別終身会費	100,000	300,000		一般事務用品	50,000	86,542								
寄 付 金	一般寄付	100,000	364,000		事務機具	20,000	0								
広告会合	会 報	500,000	260,000	事務嘱託	嘱託費	110,000	184,020								
	役員会・懇談会等	0	0	出張費	0	0									
事業費	ホームカミングデー参加費/他	700,000	125,000	通 信	会報等郵送料	600,000	123,229								
名簿・資産運用	受け取り利息	0	299	集金手数料	50,000	65,552									
雑 収 入	祝 儀 他	100,000	0	各同窓会	還 付 金	400,000	252,800								
	2021年度繰越金	0	3,253,479	地域同窓会	50,000	0									
校友会	還 付 金	0	254,000	育 英	卒業記念品等	400,000	628,650								
積立金等より	終身会費より	0	0	出 版	会報印刷代	400,000	377,564								
①合 計		3,500,000	5,832,778	会報編集費	0	0									
				事業費	ホームカミングデー参加費/他	700,000	118,112								
				ホームページ	ホームページ改修費	300,000	0								
				会 合	役員会・懇談会等	100,000	8,652								
				渉 外	慶弔交際費	120,000	48,500								
				予 備	同窓会室使用料他	0	0								
				終身会費積立金		100,000	300,000								
				②合計		3,500,000	2,297,721								
							③現在収支残高 ①-②								
							3,535,057								

2024年度 会務監査報告書

2025年4月15日法政大学理系同窓会室に於いて会則16条に基づき会務全般にわたり監査した結果、事業も予定通り遂行され、会計収支の取り扱いも適正に処理されていることを報告します。

監事 川上忠重 ㊞

住所変更は必ずご連絡ください!!

住所が変わられた方は必ずいずれかの方法で同窓会までご連絡ください。

- ①電話もしくはFAXにて
同窓会事務所 TEL/FAX 042-387-6385
- ②メールの場合 E-Mail : hosei.rikei.alumni@gmail.com

理系同窓会の運営は会員の方の会費で行っております。
同封の払込取扱票にて年会費をお支払い願います (終身会員を除く)。
また終身会員への変更、ご寄付など随時承っております。
終身会員の方にも振込用紙が同封されていますが、ご寄付の際ご利用ください。

郵便振替口座 001105-89264

●ご不明な点はお問い合わせください。●

〒184-8584 東京都小金井市梶野町3-7-2
法政大学理系同窓会事務局

会費納入について

【年会費4000円または終身会費 (卒35年以上 : 5万/卒35年未満 : 7万)】

皆様の会費にて理系同窓会の運営を行っております。
なお法政大学校友会の終身会員の方も理系同窓会年会費をお納めいただくこと
になります! よろしく願います。

編 集 後 記

日本で初の女性総理大臣、高市早苗総理は物価高対策・ガソリン税の廃止などを掲げ高い支持率を継続しています。編集後記を執筆中の今、衆院の解散総選挙が公表されました。高支持率のうちに政権基盤固めとの目論見でしょうが、本会報が発行される頃には選挙結果も決まっていることと思います。今の時期の総選挙、すこしタイミングが悪いような気がしますが、吉となるか凶となるか楽しみです。一方、わが母校出身の菅義偉元総理は「若い世代にバトンタッチ」と政界からの引退が表明されました。卒業生として少し寂しい思いがします。

私事ですが、卒業以来長年勤めた建設会社を昨年6月末、契約満了により退社しました。現在は、仮設材のリースの会社に再就職し半年が過ぎたところです。新しい会社・生活にもやっと慣れてきました。現役のころと比べ時間にも多少余裕ができ、趣味などに少しゆっくりした生活を始めたところです。

広報担当 土木 (都市環境デザイン) 工学科 1984年卒
山川 宏明